

＜真剣味＞②

2015.3.20

卒業おめでとう

新潟江南シニア第5期生の皆さん、中学校生活と新潟江南シニアの活動の両立の3年間、本当にご苦労様でした。保護者の皆様も本当にお疲れ様でした。よくバックアップして頂き、生徒も私たちも感謝しております。

これからは生徒自身が自分の夢を抱きながら、何をしたいのかを考えながら選択した進路に、それぞれが向かっていきます。全員が思い通りの進路ではないかもしれません、一日も早く心を切り替え、入学する学校で自分の実力を蓄え・また自分を伸ばせるよう日々の生活を無駄にせず充実した学校生活を送って下さい。そのためにも、仲間作りが大切です。それぞれの良さを伸ばせるよう切磋琢磨できる仲間。ここでの仲間が将来においての仲間になるはずです。そして怖いのが誘惑です。NOといえる勇気を持って下さい。一生の問題ですから。

遠征ご苦労様、実践は難しい

14日（土）、15日（日）と茨城県での福島シニアとの合同練習。私は雪が残っている状態での遠征は初めてですので少し不安がありました。安田インターを出発する時の気温は0°C、福島県磐梯山を抜けるまでは雪が降る場所、霧で前が見えない場所と運転していても疲れる状態でしたが、郡山・いわきと太平洋側に近づくにつれて気温も10°C前後と高くなり、びっくりしましたがとても快適に運転することができました。

選手達は久しぶりのグラウンドでの練習とあってうまく行かない所もありましたが、気持ち良さそうに動いていました。初めての3ヶ所でのフリーバッティング、ゲージに入るタイミング・バッティング姿勢を早く作ることなど戸惑いながら体に付いた何かをそぎ落としながら取り組んでいました。守備では今年初めての1時間のゲームノック。福島シニアの選手がランナーを努めて、スピード感あふれる中での取組、コートの広さやスピードを意識してのプレーはとても勉強になったこと思います。その後、今度はランナーを担当し、久しぶりに生きたベースランニングに挑戦していました。

2日目は（15日）は2試合を行い、共に（福島S・いわきB）大量失点で敗れました。この遠征は冬の練習を生かし、少しでも試合感を味わってもらえばと思っていました。それにしても3B+Eが目立ち、やられ過ぎかなとも思いました。4月の大会に向けて良い薬になればと思っております。

宿での生活態度はGoodでした。食事の準備・後片付け、ミーティング後のスイング・道具の手入れ、朝の散歩（遅刻なし）、しっかり身についていました。Next！